



# 学校便覧

## 長崎市立日見中学校

第16号

令和5年10月26日

文責 校長 山本

### 【第43回少年主張大会】

10月15日(日)第43回少年主張大会が開催されました。これは、東長崎中・橘中・日見中学校区の青少年育成協議会の主催により長年続けられている大会で、校区内の6つの小学校から各1名、3つの中学校から各3名が意見発表を行いました。誰もが住み続けたいような街にするためにどうしたらよいか、環境問題を取り上げて地球を守るためにはどうしたらよいか、仲間の大切さ、部活動を通して学んだことなど、様々な視点でしっかりとした意見を述べる15名の皆さんは、とても素晴らしく頼もしさを感じました。また、当日の進行は中学生が任せ、内山愛菜さんと吉田凛さんがお手伝いをしてくださいました。本校から出場した、3年1組の吉田早希さん、3年2組の中村菜楓さん、2年2組の松尾咲良さんの意見発表を、ぜひ読んでください。

#### 「環境問題について」 3年 吉田 早希

北極に住むホッキョクグマは、今、温暖化によりとても危険な状況に陥っています。2010年には5万頭いたホッキョクグマが、2020年には2万6千頭となり半分に減っている現状があります。その原因は、地球温暖化です。

ホッキョクグマは、主食であるアザラシを北極の海氷上で狩ります。氷が溶け海水面積が減ることで、ホッキョクグマは十分な獲物を獲れなくなってしまいました。

その結果、ホッキョクグマが衰弱し、数が減ってしまうのです。また今世紀までにホッキョクグマの生息に適した場所が、夏場において42%失われると予測されています。

それを防ぐために今世界中で行われているのがSDGsの取組です。SDGsには17項目の目標があります。その中で地球温暖化についての目標は13番目です。それは「気候変動に具体的な対策を」です。この目標は、温室効果ガスの排出による地球温暖化が原因の気候変動を改善し、その影響を軽減することを目的としています。SDGsの目標13を達成するためには、二酸化炭素の排出を減らす必要があります。その取組は自分たちにもできます。

例えば、公共交通機関や自転車、徒歩で移動することです。私たちは便利な車をよく利用しています。ですが便利なあまり車を使いすぎている人が多くいます。車は1km移動させるのに二酸化炭素が130g排出されます。人が一日に長い距離を車で移動したとすると、1年では約1898万gの二酸化炭素を排出していることになります。これは地球温暖化に大きな影響を与えています。しかし移動をバスにすることで、1065万8千g、移動を電車にすることで1649万8千gの二酸化炭素を1年で削減することができます。これからは公共交通機関や自転車、徒歩で移動することを意識しましょう。

次に、冷暖房の温度設定を過度にしないことです。冷房は1°C温度を上げることで約13%の二酸化炭素を減らすことができます。暖房は1°C下げるだけで10%の二酸化炭素の排出を削減できます。できるだけ適切な温度に設定したうえで、扇風機などを使い二酸化炭素の排出量を減らしましょう。

3つ目は、エコバックを使用することです。毎年、世界で使用されるレジ袋は約5兆枚です。これは1分당に約1千万枚が使用されている計算になります。1枚を製造し焼却する際に61gの二酸化炭素が排出されます。これは地球に大きな影響を与えます。買い物をする際には持参したエコバックを使いましょう。

では、なぜ二酸化炭素が温暖化の原因と言われているのでしょうか。一般に物体はその温度が高いほどたくさんのエネルギーを赤外線として放出します。地球も同じです。太陽光によって地表が温められると、地球も赤外線を放出します。大気中にある二酸化炭素が赤外線を吸収することで温暖化につながっていくとされています。これからの将来、温暖化が進むとホッキョクグマだけではなく他の動物や人間も、危険な状況に陥ってしまいます。そうならないためにも、今のうちからできることを自分たちで探し、これからの地球を守りましょう。

(裏面に続く)



## 「よりよい関係を守るために」 3年 中村 菜楓



皆さんは「友達関係って難しい。」そう感じたことはありませんか。私は何度も「友達の存在」について考え、深く悩んだことがあります。「友達関係は難しい」そう感じてしまうのはきっと、その人の本音と上手く付き合うことができなかつたからでしょう。「あなたの友達是谁ですか。」皆さんはそう問われた場合、昼休みにお喋りをしたり、運動場でサッカーをして遊んだり、いつも行動を共にしている人、またはネットで交流のある人の名前をすぐに出すことができますと思います。では、「あなたの親友は誰ですか。」そう問われた場合、皆さんは自信を持って自分が親友だと思ふ人の名前をすぐに出せるでしょうか。私は、少し考えてみないと、親友の名前を出すことはできません。なぜなら、「相手からどう思われているのか分からない。」そう思うと、自信をなくしてしまうからです。

「あなたのこと親友だなんて思ったことはないよ。」私はそう言われたことがあります。親友だと思っていた子と喧嘩をしてしまった時に言われた言葉です。当時小学5年生だった私はひどく傷ついてしまい、「親友って何なのだろう」そう何度も考えました。私たちはいつもともに行動し、昼休みもお喋りをして過ごして、放課後には一緒に公園へ遊びに行くような関係性でした。私は「いつも一緒にいて、気を遣わなくてもよい」そのような理由から、相手のことを「親友」だと思っていました。「意見のすれ違いで、たとえ喧嘩が大きくなったとしても、話し合いを重ねれば、いつか分かり合える。」そう信じていましたが、以前のように、共に行動をしたり、一緒に遊びに行くようなことはなくなってしまいました。

私は、それ以降「親友の意味」「友達の定義」について、自分なりの答えを導きだそうとしましたが、結局分からなのまま、今も答えを探し続けています。「自分が親友だと思っても、相手も同じ気持ちとは限らない。」そう考えてしまうと、私は自信をなくし、怖くて何も言えなくなります。

しかし、この経験から得たこともあります。それは、「自分の考えや感情を隠してまで、相手に合わせなくてもよい。」と気づけたことです。

私は、相手の価値観や気持ちについて深く考えてしまうことがあります。それは相手のことを十分に理解するためです。人と上手く関わっていくには、「協調性」というものが必要になってきます。相手を理解しようとすることで、人間関係は成り立つ、私はそう考えています。しかし、相手のことを深く考えすぎてしまうことで、「相手と本音で話しにくくなり、関わり方が分からなくなってしまう」このような状況に陥り、自分を失ってしまうことへつながります。だから、自分の考えや気持ちを大切に、「自分を持つ」ということも必要になってきます。

「よりよい関係を守るために必要なこと」それは、「協調する心を持つこと」「自分の気持ちを大切にすること」この2つだと考えます。しかし、これらを両立させることは、とても難しいことです。

私はこの2つをうまく両立させるために、「相手と適切な距離を保つこと」が重要だと考えました。なぜなら、相手の心に踏み込みすぎると、その人を傷つけてしまうかもしれず、逆に、全く関わろうとしなければ、自分の心が孤独に押し潰されてしまうからです。「協調する心を持つこと」「自分の気持ちを大切にすること」これらを両立させるための「相手と適切な距離を保つこと」は、決して簡単なことではありません。しかし、自分と相手の心を守るためには必要なことなのです。私はこれからの生活で、この3つのことを常に意識し、いろいろな人とよりよい関係を築いていきたいです。 松尾咲良さんの意見発表は、次号に掲載します。

## 【11月学校行事】

3日(金)	文化の日
6日(月)	三者面談(3年)～14日(火) 食育講話(2年)
8日(水)	教育相談(1、2年)～14日(火) テスト前部活動中止
15日(水)	期末テスト
16日(木)	期末テスト
19日(日)	日見まつり(弁当日)
20日(月)	能楽鑑賞(5、6校時)
23日(木)	勤労感謝の日
24日(金)	代休

## ※日見まつりへの参加について

第1回目の日見まつりが行われることとなり、学校としても全面的に協力したいと考え、育成協や日見未来会議で協議を進め、参加することとしました。つまり授業日扱いとなります。ご理解ください。なお、詳細につきましては、後日お知らせします。

ただし、日見まつりが雨天順延の場合、19日(日)は休日となり、24日(金)に午前中3時間の授業を行います。